

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成27年10月7日)

- 1 美保基地への次期輸送機C-2の一時乗り入れ等について
【地域振興課】・・・1ページ
- 2 公立大学法人公立鳥取環境大学の中間評価について
【教育・学術振興課】・・・2ページ
- 3 第70回国民体育大会における鳥取県選手団の結果について
【スポーツ課】・・・4ページ
- 4 韓国江原道との生涯スポーツ交流について
【スポーツ課】・・・7ページ

地 域 振 興 部

美保基地への次期輸送機C-2の一時乗り入れ等について

平成27年10月7日

地域振興課

美保基地への次期輸送機C-2の一時乗り入れ等について、昨日、中国四国防衛局地方協力確保室長及び防衛装備庁主任研究員が来庁され、次のとおり情報提供がありましたので報告します。

1 美保基地への次期輸送機C-2の一時乗り入れについて

平成28年度末に美保基地に配備予定のC-2が、基地での部品交換や機体修理のシミュレーションを行うため、一時的に美保基地へ乗り入れる予定である。

- (1) 期間 10月20日(火)～22日(木) ※23日(金)は予備日
- (2) 機数 C-2×1機、随伴機(C-1又はT-4)×1機
- (3) 内容 着陸、部品交換、機体修理のシミュレーション、離陸
- (4) その他 地元からの要望により、20日に、見学会の開催を調整中

2 次期輸送機C-2の地上試験における不具合への対応等について

(1) 経緯

次期輸送機C-2については、昨年1月、機体構造の強度確認のための地上試験において、航空機が高高度を飛行する場合に胴体にかかる機内の気圧を、通常運用でかかる圧力の約1.2倍まで負荷したところ同機の貨物扉、後部胴体等に損壊が発生した。

原因究明及び対応策の検討を行った結果、損壊した地上試験機用の胴体について、量産機の胴体を活用して確保する等の措置を講じて試験を再開した。

(2) その後の進捗

上記の措置を講じた新たな地上試験用の胴体を用いた地上試験については、平成27年3月に必要な準備が整ったことから再開し、機内の気圧を通常運用でかかる圧力の1.35倍まで負荷を行い、強度に問題がないことを確認し、引き続き試験を実施中である。

また、主翼や降着系統等の試験についても再開し、これまでのところ計画に沿って順調に進捗しており、C-2の強度に新たな問題は発見されていない。

3 その他

中国四国防衛局からは、米子市、境港市にも情報提供が行われているところ。

公立大学法人公立鳥取環境大学の中間評価について

平成27年10月7日
教育・学術振興課

中期目標に基づき、公立大学法人公立鳥取環境大学から、別添のとおり第1期中期目標期間に係る業務の実績に関する中間報告書の提出がありましたので、報告します。

1 法人からの中間報告について

(1) 全体評価

平成24年度	平成25年度	平成26年度
A	A	A

※S、A、B、C、Dの5段階で上から2番目

(2) 主な取組

年度	主な取組項目
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> 過去の環境に関する学術研究の蓄積を活かした「環境学部」、山陰地方では初となる「経営学部」の開設 西部サテライトキャンパスを米子市に設置 委員の一定数以上が学外者で構成される、経営に関する重要事項を審議する経営審議会及び教育研究に関する重要事項を審議する教育研究審議会を設置 地域イノベーション研究センターの設置
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> 教育環境の充実を図るため、実験施設の整備に向けて設計等を開始 学生等からの提案や意見を募るため、キャンパス内各所に学生・職員提案箱を設置 学生の健康相談、メンタルヘルス相談の充実を図るため、常勤の保健師、臨床心理士を配置 外部認証評価機関である公益財団法人大学基準協会の審査・評価を実施
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> 東部地区の地域連携を図るため鳥取市中心部に「まちなかキャンパス」を設置 東部地区全市町及び兵庫県新温泉町との地域連携を進める「とっとり麒麟地域活性化プラットフォーム」の発足 伯耆町日光地区との交流及び地域貢献を進めるため、伯耆町と地域連携協定を締結 JACOによるISO14001環境マネジメントシステムへの適合性・有効性評価の審査を受け、更新審査に合格 国際交流の充実と一元的な窓口として国際交流センターを設置

(3) 中期目標の見直しの要望

① 項目の追加

「社会貢献・地域貢献の充実」の項目の追加

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(文部科学省事業、9月採択)、地域学、出張英語村など、地域との連携強化・充実を図るため、「3 社会貢献・地域貢献に関する目標」に「社会貢献・地域貢献の充実」の項目を追加する。

「カリキュラムの改革」の項目の追加

平成28年度から、人間形成教育における専門性の強化(専門教養的科目の導入)、学部専門教育での具体的な分野の強化(重点授業科目の導入)を行う予定であり、「1 教育に関する目標」に「カリキュラムの改革」の項目を追加する。

② 目標数値等の見直し

退学率は、「入学後4年間で退学した学生数の割合」としているが、新たに、一般的に用いられている「当該年度の全体学生数のうち、退学した学生数の割合」も併記するよう、見直す。

2 今後の予定

中期目標の見直しについては、設置者(県・鳥取市)で今後、内容を検討し、見直す場合は公立大学法人公立鳥取環境大学評価委員会の意見を聞いた上で、県・市両議会に議案として提出する。

【参考】公立大学法人公立鳥取環境大学中期目標（抜粋）

VI 点検・評価・情報公開に関する目標

3 中間評価に関する目標

3年ごとに、大学運営についての中間評価を実施するとともに、その時点における数値目標等を適正に見直し、設置者（議会）へ報告し、公表する。

【参考】地方独立行政法人法（抜粋）

（中期目標）

第25条

3 設立団体の長は、中期目標を定め、又はこれを変更しようとするときは、あらかじめ、評価委員会の意見を聴くとともに、議会の議決を経なければならない。

第70回国民体育大会における鳥取県選手団の結果について

平成27年10月7日
スポーツ課

第70回国民体育大会の本県選手団の結果について、次のとおり報告します。

1 男女総合成績

鳥取県選手団は、722.5点（参加得点400点、競技得点322.5点）を獲得し、男女総合成績（天皇杯）40位、女子総合成績（皇后杯）30位と健闘した。昨年度の38位から2位順位を下げたものの、競技得点獲得が2年連続で300点を超えたのは、現行の得点方式になってからは初めてである。

2 年度別競技得点及び総合成績

区分	66回 (H23)	67回 (H24)	68回 (H25)	69回 (H26)	70回 (H27)
少年	145.0	172.5	151.5	238.0	220.0
成年	83.0	88.0	68.5	152.0	102.5
合計	228.0	260.5	220.0	390.0	322.5
総合成績	44位	44位	45位	38位	40位

3 競技別競技得点

競技名	競技得点	入賞種目数	順位							
			1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
弓道	69点	4種目	1	1		1		1		
ボート	60点	4種目	2		2					
カヌー	59点	7種目	1	2		1		2	1	
自転車	30点	3種目	1	1		1				
山岳	30点	2種目		1				1		
セーリング	28点	5種目				2			1	2
陸上	13点	4種目			1		1		1	1
レスリング	13点	4種目			1		3			
相撲	12.5点	1種目					1			
アーチェリー	3点	2種目	1※							1
スキー	3点	1種目						1		
水泳	2点	2種目								2
合計	322.5点	39種目	6	5	4	5	5	5	3	6

※アーチェリー個人は競技得点に計上されない

4 入賞状況

別紙のとおり

第70回国民体育大会における入賞一覧

(別紙)

○冬季国体(3点)

競技	種別	種目	氏名等	成績	獲得得点
スキー (3点)	成年男子	ジャイアントスラローム	おおふじ しょうた 大藤 翔太	6	3

○会期前実施競技(30点)

競技	種別	種目	氏名等	成績	獲得得点
水泳 (2点)	少年女子	50m自由形	よこやま みやび 横山 雅	8	1
	少年女子	高飛込	こんどう ゆうき 近藤 優妃	8	1
セーリング (28点)	成年男子	レーザー級	せがわ かずまさ 瀬川 和正	4	5
	少年男子	レーザーラジアル級	しいのき しゅうえ 椎木 秀映	7	2
	少年男子	420級	にった だいき 新田 大貴 はらだ せいや 原田 聖也	8	3
	成年女子	セーリングスピリッツ級	ひらおか さき 平岡 沙希 にしお ともみ 西尾 知美	4	15
	少年女子	420級	たむら めぐみ 田村 愛海 いけおち きき 池淵 砂紀	8	3

○本国体(289.5点)

競技	種別	種目	氏名等	成績	獲得得点
陸上 (13点)	少年男子	ハンマー投げ	かどわき しょうへい 門脇 昭憲	8	1
		やり投げ	いしがき りきなり 石坂 力成	5	4
	成年男子	110mハードル	にしざわ 眞徳 西澤 眞徳	3	6
	成年女子	走高跳	とうが 論美 等谷 論美	7	2
ボート (60点)	成年男子	シングルスカル	ふるた 直輝 古田 直輝	3	6
	成年女子	ダブルスカル	とみた ちあき 富田 千愛 あいみ はるな 相見 晴奈	1	24
	少年男子	シングルスカル	いしかた しゅういちろう 石畑 修一郎	3	6
	少年女子	ダブルスカル	たかしま みほる 高島 美晴 ながい りゅうこ 永井 瑠湖	1	24
レスリング (13点)	成年男子	フリースタイル74Kg級	みやち ゆう 宮近 由	5	2.5
		グレコローマンスタイル85Kg級	まへだ ゆうや 前田 祐也	3	5.5
	少年男子	フリースタイル55Kg級	こたに しんすけ 小谷 駿介	5	2.5
		グレコローマンスタイル50Kg級	せいの かい 群野 海	5	2.5

競技	種別	種目	氏名等	成績	獲得得点
自転車 (トラックレース) (30点)	少年男子	1km タイムトライアル	山根 将太	2	7
	少年男子	ポイントレース	金田 優作	1	8
	男子	チームスプリント	佐伯 亮輔 山根 将太 佐伯 洸輔 山根 慶太	4	15
相撲 (12.5点)	少年男子	団体	小林 幸樹 竹内 宏巖 越後谷 知樹 大田 斗葵 石田 有輝 岩永 俊 石岡 弥輝也	5	12.5
弓道 (69点)	少年男子	近的	岡本 裕也 杉本 尚斗	2	21
		遠的	頼兼 耕樹	4	15
	少年女子	近的	岩本 真奈 磯江 ほのか	1	24
		遠的	永見 葉子	6	9
カヌー (59点)	成年女子	ワイルドウォーター1500m	福本 かな子	2	7
		ワイルドウォータースプリント	福本 かな子	1	8
		スラローム25ゲート	遠藤 絵里子	4	5
		スラローム15ゲート	遠藤 絵里子	6	3
	少年男子	スプリントK-4 500m	福本 秀喜 横山 瑠紀 高木 良太 大西 晃一朗	6	9
		スプリントC-2 500m	澤田 拓矢 岡村 真鳥	7	6
		スプリントC-2 500m	澤田 拓矢 岡村 真鳥	2	21
アーチェリー (3点)	成年女子	個人	川中 香緒里	1	-
	団体	川中 香緒里 松下 文香 和田 茜	8	3	
山岳 (30点)	少年女子	リード	古川 日南子 高田 ころろ	6	9
		ボルダリング	古川 日南子 高田 ころろ	2	21

韓国江原道との生涯スポーツ交流について

平成27年10月7日
ス ポ ー ツ 課

スポーツ交流を通して、国際友好とスポーツ振興を図るため、鳥取県と韓国江原道生活体育会との間で生涯スポーツ分野における交流を、次のとおり行います。

1 期 日

平成27年10月23日(金)～27日(火)

2 選手団概要

江原道生涯スポーツ選手団 40名

- | | | | | | | |
|---|------------|-----|----------------|-----|-----------|----|
| ┌ | ・本部役員 | 7名 | (江原道生活体育会会長 | 林鎬淳 | (イム・ホスン) | 他) |
| | ・バドミントン選手団 | 15名 | (江原道バドミントン連合会長 | 韓永運 | (ハン・ヨンウン) | 他) |
| | ・ゲートボール選手団 | 17名 | (江原道ゲートボール連合会長 | 安承達 | (アン・スンダル) | 他) |
| | ・通 訳 | 1名 | | | | |

3 交流内容

10月25日に開催される県民スポーツ・レクリエーション祭のバドミントン競技及びゲートボール競技に参加し、本県選手と交流試合を行う。

4 日 程 (案)

- ・10月23日(金)
 - 11:00 米子空港着
 - 14:30～ 県内視察・観光(境港市)
 - 18:00～ 県主催歓迎レセプション
- ・10月24日(土)
 - 9:00～ 本県発祥グラウンド・ゴルフ体験(潮風の丘とまり)
 - 14:30～ 県庁表敬訪問
- ・10月25日(日)
 - 終 日 県民スポーツ・レクリエーション祭競技別交流試合
 - 【バドミントン競技】鳥取市民体育館
 - 【ゲートボール競技】鳥取市美保公園多目的広場
- ・10月26日(月)
 - 終 日 県内視察・観光(鳥取砂丘、浦富海岸 他)
- ・10月27日(火)
 - 15:00 米子空港発

